

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社三菱ケミカルホールディングス（証券コード:4188）

### 【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+
発行登録債予備格付	A+

### ■格付事由

- (1) 国内最大の総合化学グループの持株会社。機能商品およびケミカルズは三菱ケミカルが事業主体で、ディスプレイ関連や世界トップの MMA など、競争力のある製品を多数手掛ける。産業ガスは日本酸素ホールディングスグループが世界4位、ヘルスケアは田辺三菱製薬が国内医療用医薬品で大手の地位にある。長期的な社会環境の変化を見据え、有力製品の能力増強や M&A などを通じグループ事業基盤の強化を推進。この一環として、20/3 期に田辺三菱製薬を完全子会社化した。格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- (2) 事業環境の悪化を受け、業績は近年、下押し圧力を受けている。石化事業の構造改革で、従前に比べケミカルズの不況抵抗力は増しているものの、依然、ボラティリティが残る。ただ、機能商品は幅広い需要分野を背景に底堅く利益を確保している。また、産業ガスは大型 M&A 効果などで収益力が向上しており、グループ業績を下支えしている。ヘルスケアの重要パイプラインの一部で開発遅れが生じている点に懸念はあるが、グループの強固な事業基盤を揺るがすほどではない。成長投資の影響などで有利子負債は高水準となっているものの、投資規律を順守することなどで、22/3 期以降、財務構成は改善に向かうと JCR では想定している。以上を総合的に勘案し、格付を据え置き、見通しも安定的とした。
- (3) 21/3 期会社計画ではコア営業利益 1,530 億円（前期比 21.5%減）と 3 期連続の減益を予想する。ケミカルズのスプレッド悪化や原料価格下落に伴う受払差損などが大きなマイナス要因となる見込み。また、新型コロナウイルス感染症によるパーキンソン病治療薬の開発計画変更や、MMA の米国ボーモント工場閉鎖に伴う減損損失の計上などで、最終損益は 480 億円の赤字（前期は 541 億円の黒字）となる見通しである。ただ、四半期業績は今第 1 四半期まで厳しく推移したが、以後は順調に回復している。自動車生産の復調で関連する機能商品の需要が持ち直し、MMA をはじめケミカルズの市況や需要も好転している。事業環境の先行きに楽観的な見通しは持ちにくい、業績の一段の下振れリスクは後退している。
- (4) 親会社の所有者に帰属する持分は 1 兆円以上の規模があり、リスクバッファーとして相応の厚みがある。一方、日本酸素ホールディングスグループが実施した大型 M&A や田辺三菱製薬の完全子会社化でグループのネット有利子負債は 2 兆円を超えており、財務構成は改善の余地が大きい。21/3 期は最終赤字となることも響く。ただ、財務改善の方針は堅持されており、当社では運転資金圧縮や資産売却なども通じ、有利子負債の削減を図っていく方針である。JCR では引き続き、その取り組みや進捗に注目していく。

（担当）窪田 幹也・藤田 剛志

### ■格付対象

発行体：株式会社三菱ケミカルホールディングス

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2011年9月12日	2021年9月10日	1.204%	A+
第9回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2013年6月4日	2023年6月2日	1.226%	A+
第12回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2013年12月12日	2023年12月12日	0.918%	A+
第14回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2014年6月17日	2021年6月17日	0.482%	A+
第15回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2014年6月17日	2024年6月17日	0.800%	A+
第16回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2015年6月4日	2022年6月3日	0.433%	A+
第17回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2015年6月4日	2025年6月4日	0.755%	A+
第19回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2015年12月3日	2022年12月2日	0.476%	A+
第20回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2015年12月3日	2025年12月3日	0.711%	A+
第21回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年6月9日	2021年6月9日	0.120%	A+
第22回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年6月9日	2026年6月9日	0.320%	A+
第23回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2016年6月9日	2036年6月9日	0.850%	A+
第24回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2018年2月27日	2028年2月25日	0.370%	A+
第25回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2018年2月27日	2038年2月26日	0.890%	A+
第26回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	120億円	2018年12月19日	2028年12月19日	0.420%	A+
第27回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	80億円	2018年12月19日	2038年12月17日	1.000%	A+
第28回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2018年12月19日	2048年12月18日	1.388%	A+
第29回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年5月30日	2029年5月30日	0.330%	A+
第30回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	120億円	2019年5月30日	2039年5月30日	0.830%	A+
第31回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	80億円	2019年5月30日	2049年5月28日	1.214%	A+
第32回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2020年2月28日	2027年2月26日	0.230%	A+
第33回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2020年2月28日	2030年2月28日	0.280%	A+
第34回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2020年2月28日	2040年2月28日	0.690%	A+
第35回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	250億円	2020年6月11日	2025年6月11日	0.190%	A+
第36回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2020年6月11日	2030年6月11日	0.400%	A+
第37回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年6月11日	2040年6月11日	0.830%	A+
第38回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年11月27日	2030年11月27日	0.360%	A+
第39回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年11月27日	2040年11月27日	0.770%	A+
<b>対象</b>	<b>発行予定額</b>	<b>発行予定期間</b>		<b>予備格付</b>	
発行登録債	4,000億円	2020年9月8日から2年間		A+	

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年2月15日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：窪田 幹也
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「化学」(2012年3月26日)、「持株会社の格付方法」(2015年1月26日)、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付の視点」(2003年7月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社三菱ケミカルホールディングス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■用語解説

**予備格付**：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO(Nationally Recognized Statistical Rating Organization)の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル